

令和4年度（2022年度）行政評価シート【個表】

令和 4 年 6 月 3 日

評価対象事業		評価者	文化課長 藤田 聡一郎	
共生-29	美術館建設準備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	文化課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	文化	施策の方針	文化活動の支援・推進

1 事業の目的

対象	市民等
意図	文化を創造するまちづくりに資する施設となる美術館の設置に向けて準備をするため。
効果	鎌倉ゆかりの美術工芸品等の収集及び保存を図る。

2 令和3年度(2021年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 高田博厚作品を含む美術品保管委託等を行った。 美術工芸品等収集選定委員会を開催し、作品の収集を行った。
--

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和3年度		令和4年度		達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)	指標(実績値/目標値)	指標(目標値) 予算額(千円)	
01	美術工芸品等収集選定委員会事業	美術工芸品等収集選定委員会委員報酬等	-	- / - 52 / 62	- 62	- 62	-	-
02	美術工芸品等保存事業	美術品保管委託料等	-	- / - 2849 / 2849	- 2849	- 3,039	-	-
03	美術工芸品等維持修繕事業	美術品維持修繕料等	-	- / - - / -	- -	- 3,161	-	-
04				/				
05				/				
06				/				
07				/				
08				/				
09				/				
10				/				
		財源内訳	国県支出金	/	0	0	0	
			地方債	/	0	0	0	
			その他特定財源	/	0	0	0	
			一般財源	2901 /	2911	6,262	6,262	
			事業費の合計(千円)	2,901 /	2,911	6,262	6,262	
		人件費(千円)		759	769	769		

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	0.1	0.1	0.1			
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0			

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、 目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、 構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	美術工芸品等収集選 定委員会事業	美術工芸品等収集選定委員会 における選定、評価客体である 美術工芸品等は、寄贈又は寄 託によるものが主であるため、 指標設定にそぐわない。	鎌倉ゆかりの美術工芸作品等 の収集を図る上で、適正かつ公 正な選定、評価等に寄与した。	-
02	美術工芸品等保存事 業	美術工芸品等の保管・保存の委 託事業のため、指標設定に馴染 まない。	鎌倉ゆかりの美術工芸品等保 存を図る上で、適切な保管・保 存に寄与した。	-
03	美術工芸品等維持修 繕事業	義務的な支出であり、指標の設 定には馴染まない。	鎌倉ゆかりの美術工芸品等保 存を図る上で、適切な保管・保 存に寄与する。	-
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない	
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	1 実施済み	
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない	
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある	
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	1 民間によるサービスで代替できる事業がある	
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である	
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-3 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施	△-2 市民等と協働して実施する事業はない
協働		協働実施済の場合のパートナー	

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

<p>【今後の方針】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善・変更 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <p>建設地の確保、費用の面から、(仮称)鎌倉美術館の建設が難しい状況となっていることから、引き続き、収蔵する美術品の市民等へ鑑賞機会の手法を検討する必要がある。また、修復が必要な絵画等の作品について、順次対応していく。</p>
--

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項							
団体名	鎌倉市						
他市実績							

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	当市の相対的な位置付けを他市との比較値によって測る定量評価には、事業の性質上、馴染まないと考えられる。
----------------------	---